



田尻町議会だより

たじりの風

8314

Vol.94

平成25(2013)年
2月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



ご成人おめでとうございます

今年は 85 名の方が新成人になりました

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ 本会議審議 7 頁
- ★ 行政視察報告（文教厚生常任委員会） 8 頁
- ★ この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 坂口 実 議員 1. 中学校の野球部復活に関して進捗状況を問う
- 大門 久恭 議員 1. グローアップ事業を復活してはどうか
- 仁部 順行 議員 1. 青年会館の建設はどのような状況になっているのか
- 小川 雄司 議員 1. 吉見ノ里駅無人化の解消を
2. 保育・学童保育施設の拡充による入所希望者受入を
- 吉開 育子 議員 1. 家庭用太陽光発電のパネル設置に来年度予算で補助を
2. 道路の安全対策を求める

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。

次回の定例議会での一般質問は3月5日に
実施する予定です。
みなさんぜひ傍聴にお越しください。



坂口 実 議員

問 中学校の野球部復活に関して進捗状況を問う

答 課題解決に向けて協議、議論している

問 平成24年8月16日田尻町立小学校の保護者より、田尻町立中学校の野球部復活を求める請願書が提出され、9月26日の議会において全会一致で採択された。その後70日が経ち、その間に町立中学校から校長・教頭、また議会の代表が参加する教育委員会主催の代表者会議が10月31日及び11月26日に公開にて開催された。第2回の会議には、新たに保護者より野球部活動計画案も提出されたが、この案は保護者の協力体制や要望が詳細に明記されたものであった。野球部復活の決定に至るまで、引き続き代表者会議の開催を切望する。教育委員会に対して、現在の進捗状況を問う。また、田尻町立中学校の府費負担教職員との議論や要望の進捗状況を教育委員会指導課に問う。加えて、平成25年4月野球部設立に向け、

臨時議会か最終の来年3月議会へ上程に必要な新たな条例の制定及び改正に要するタイムスケジュールを問う。最後に、条件整備がなされた場合、平成25年度予算から公費支出が毎年必要となるが、予算執行責任者である町長にこれを承認するか否かを問う。

答 会議は12月までの3回を予定。進捗状況は、今後細部に関して調整していく必要がある。府費負担教職員との議論や要望は、教育委員会と中学校とは内容は共有している。要望は教職員の人事に関する事となる。条例制定等は今後の議論で判断する。公費支出は、予算措置ができる内容かどうか今後判断する。最終結果を踏まえて教育委員会から予算要求なされた場合、必要とあるならばきちっと支出する。





大門 久恭 議員

問 グローアップ事業を復活してはどうか

答 今後、検討する

問 本町は、青少年を海外に派遣し、外国の言語や文化を学ぶとともに現地での生活体験、人々との交流を通じて、国際的視野に立ち、田尻町の国際化の一躍を担う人材の育成を図る目的で、平成2年から平成18年度までグローバル事業を実施していた。現在、青少年の海外研修等に対する補助金はストップしているが、復活してはどうか。

答 国際的視野を持って活躍できる人材の育成というのは、非常に重要と認識している。町長の施政方針の中でも述べている小学校の新学習指導要領の実施に伴い、外国語活動が展開されているのを踏まえて、外国

語教育、特に英語教育については子どもたちが国際感覚を磨く一番の近道と考えている。今後、何らかの施策展開の検討を考えている。



仁部 順行 議員

問 青年会館の建設はどのようになっているのか

答 良い方向に持っていきたい

問 10年以上も前から青年会館建設について再三再四同じ質問を重ね、水野町政のときにコミュニティーセンターの建設が認められた。しかし、その後進捗説明すらないまま、今に至っている。また、建設予定地をいつまで放置しておくのか。

答 当時からの時系列を聞いて、本当に二転三転していると実感した。今の現状では、場所もお金もあるという中で、いつまでもあの土地をそのまま置いておくのは、良い状態ではないと理解している。町長や地区長等も変わったので、今後、嘉祥寺の集会所のあり方も踏まえてどのように持っていくのか話し合いをすべきだと思っており、良い方向になるよう持っていきたいと思っている。





小川 雄司 議員

問 吉見ノ里駅無人化の解消を

答 南海電鉄社長に要望している

問 原町長は、大阪府警察学校が2013年4月に開校し、最寄り駅となることや、現在、踏切を拡幅すべく南海電鉄と交渉中であることを理由に、吉見ノ里駅の「無人化は困る」ということで抗議されたが、2012年10月1日から、完全無人化が強行された。その後、南海電鉄との交渉はどうなっているのか。

答 地元代議士といっしょに南海電鉄社長に無人化の解消を要望している。まだ回答はいただいている。

問 「女性の社会進出しやすい環境をつくる」公約実現を

答 学童保育4年生を受け入れるようにしたい

問 共産党議員団が実施した町民アンケートに、原町長の公約に対して、次のようなご意見をいただいた。「はっきりいってあきれています。女性の社会進出等を公約に掲げておいて、票かせぎにすぎなかったのかと怒りさえ覚えます。学童の4年生だけでもという要望に対する回答もがっかりだったのに今度は不可能、考えていないとの答弁で残念です。私は本当に仕事をやめないといけないと考えています。期待していたのに」この声はどう答えるのか？

答 もう一度考え直して4年生を受け入れるようにしていきたい。5年6年生は、学校等ともいろいろ協議して保護者も入って受け入れるような体制をつくっていきたい。



吉開 育子 議員

問 太陽光発電パネル設置に補助金を

答 補助金の導入は考えていない

問 私の自宅では国の補助を受け太陽光パネルを設置した。現在、府内17の自治体が補助を実施しており、近隣では熊取町が1kwあたり2万円で上限8万円、堺市は7万円で上限28万円となっている。田尻町も補助を実施すれば、設置者の負担軽減になり自然エネルギーへの転換が進むと考えられる。来年度から補助金を導入するよう求める。

答 太陽光発電システムの価格は年々低下傾向にあり、減価償却期間が短縮され市場では太陽光発電が普及する土壤は相当熟成してきていると推察される。よって田尻町では、今しばらく国の補助制度、電力買取価格やシステム価格の推移などの情勢を見極める必要があると判断しており、来年度予算での導入は考えていない。

問 道路の安全対策を求める

答 ふれ愛センター横の歩道は補修をする

問 共産党議員団が行った町民アンケートに、「ふれ愛センターからマックスバリュまでの道路で一部狭い箇所があり危ない。対面通行が困難なことをもってはっきりわかりやすく標示を」「ふれ愛センター横の歩道がデコボコしていて、小さな子どもがつかずいて危ない、補修をしてほしい」などのご要望が届いている。安全対策を求める。

答 道路の入口に畳1畳分の立看板を、この道路が狭いということで設置している。ふれ愛センター横の歩道は予算をかながみながら補修を近いうちに積極的に行う。

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁部 順行

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(12月11日開催)

◎田尻町水道布設工事に係る監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例制定の件

(条例の制定) 【全会一致で可決】

・平成23年8月30日に公布された「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により水道法が改正され、これまで法令で規定されていた基準を地方公共団体の条例で定めることになったための条例制定である。



◎田尻町報酬及び費用弁償条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回、日額報酬額が7,500円に改定される委員は、平成19年度に行革の観点で一旦引き下げた「臨時に補充した選挙管理委員」等だけなのか。

答 そのとおりである。

◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【賛成3、反対1で可決】

問 今回の条例改正により住居手当が減額等となるが、対象職員数及び減額の総額はいくらになるのか。

答 今回の減額等の対象者は、持ち家の職員が74名、家賃を払っている職員が16名となっている。これにより、住居手当の年間削減額は789万円となる。



反対討論 公務員の方々の生活を守ってあげる必要がある。また、住居手当の減額と管理職手当を引き上げることを行って議論することには反対である。

賛成討論 もうすでに労使交渉が済んでいるので賛成である。

◎田尻町管理職手当に関する条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【賛成3、反対1で可決】

問 本町の管理職は、部長以下57名と聞いているが、

総職員数は何名となっているのか。

答 総職員数は126名となっている。

問 管理職手当の改定額については、なぜ大阪府下町村の平均額にしているのか。

答 本町の職員は、他町村の職員と比べても決して劣っていない。また、住民サービスの充実のためにも、管理職手当を引き上げ、職員にやる気を出させて、士気の高揚を図り、よい人材を育てて行かなければならない。さらに、管理職手当の引き上げが21年間据え置きとなっていたこともあり、大阪府下町村の平均額が妥当であると考えている。



問 今回の条例改正により、住居手当の年間削減額分と管理職手当の年間増額分はどうなるのか。

答 住居手当については、年間789万円の削減となり、管理職手当については、656万4千円の増額となる。

反対討論 管理職手当を引き上げることはやぶさかではないが、本町の職員数130人程の組織からすると大阪府下町村の平均額ではなく、妥当な金額があるはずであるので、反対である。

賛成討論 管理職手当の引き上げを21年間据え置きとなっていたことが問題であり、もっと早く引き上げるべきであったと思う。また、本町は優秀な職員が多いが、管理職手当の引き上げによって、士気の高揚を図り、これからはしっかりと住民のために働いてもらえる職員を育ててもらいたい。なお、町の財政が悪化した場合には管理職手当の引き下げを願いたい。

◎田尻町手数料条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

・大阪府からの権限移譲に伴い来年3月1日から本町において火薬類取締法及び高圧ガス保安法並びに液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に関する事務を執行するための条例改正である。

◎田尻町営住宅管理条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回、町営住宅の入居者資格要件である「同居者に小学校就学前の子どもがいる世帯」となっているものを「同居者に義務教育終了までの子どもがいる世帯」に引き上げるとは、基本的には賛成だが、近隣市町はどうなっているのか。

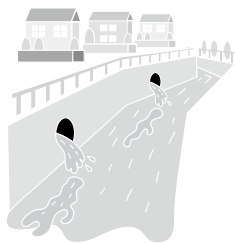
答 義務教育終了までの引き上げは、本町独自のものであり、近隣市町では実施していない。

◎田尻町下水道条例一部改正の件

(条例の一部改正)

【全会一致で可決】

・平成23年8月30日に公布された「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により、下水道法及び下水道法施行令が改正され、これまで法律等で定められていた公共下水道の構造の技術上の基準を地方公共団体の条例で定めることになったための条例改正である。



◎泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町及び岬町における内部組織の共同設置に関する協議の件

(内部組織の共同設置に関する協議)

【全会一致で可決】

問 今回、3市3町が共同設置する広域福祉課においては、どのような事務を処理するのか。

答 広域福祉課が処理する事務は、

- 1、児童福祉施設設置（保育所、児童館）にかかる認可等の事務
- 2、児童福祉施設設置（助産施設、母子生活支援施設）にかかる認可等の事務
- 3、認可外保育施設からの届出の受理等の事務
- 4、指定障害福祉サービス事業者の指定等の事務
- 5、指定居宅サービス事業者の指定等の事務
- 6、定員29人以下の特別養護老人ホームの設置認可事務
- 7、老人デイサービスセンター等の設置の届出受理等の事務
- 8、有料老人ホーム設置届等各種届出の受理及び運営指導等の事務
- 9、社会福祉事業（老人福祉センター）開始の届出の受理等の事務
- 10、社会福祉法人の設立認可等の事務

となっている。

問 共同設置する広域福祉課の職員は、何人ぐらいになるのか。また本町からも職員を1名出すのか。

答 広域福祉課の職員については、市が2名、町が1名出すということが決まっており、9名体制となっている。

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算（第4号）の件

(5,174万6千円の増額)

【全会一致で可決】

・人件費の確定に伴う補正予算である。

◎平成24年度田尻町下水道事業特別会計補正予算（第1号）の件

(8万4千円の減額)

【全会一致で可決】

・人事異動に伴う補正予算である。

◎平成24年度田尻町水道事業会計補正予算（第1号）の件

(653万9千円の減額)

【全会一致で可決】

・主に人事異動に伴う補正予算である。

文教厚生常任委員会

委員長 高木 謙治

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(12月10日開催)

◎平成24年度田尻町一般会計補正予算（第4号）の件

(5,174万6千円の増額)

【全会一致で可決】

問 広域入所負担金の予算が1,050万円増額されているが、広域入所者は当初見込んでいた人数よりどれだけ増えているのか。

答 広域入所負担金については、毎年20名程度の広域入所者数を見込んで計上しているが、12月1日現在の広域入所者が34名となっており、今回、来年3月までの状況を見込んで予算を増額している。

◎平成24年度田尻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）の件

(13万2千円の減額)

【全会一致で可決】

・人事異動に伴う補正予算である。

◎平成24年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の件

(218万1千円の減額)

【全会一致で可決】

・人事異動に伴う補正予算である。

◎平成24年度田尻町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件

(5,024万6千円の増額)

【全会一致で可決】

問 介護サービスの利用者が当初見込んでいた人数より増えているということだが、何人ぐらい増えているのか。

答 当初予算を組んだ段階における認定者の見込み数は336名であったが、現状では345名となっている。



本 会 議 審 議

報告第4号、「平成24年度田尻町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の件」

（提案理由及び改正内容）

平成24年11月16日に衆議院が解散し、衆議院議員総選挙が平成24年12月16日に実施することが決定されたため、その事務に係る経費予算を補正するもの。

（質疑、討論及び採決結果）

質疑、討論なく、全会一致で原案のとおり承認

議案第65号、「田尻町職員退職手当に関する条例一部改正の件」

（提案理由）

平成24年11月16日に国家公務員の退職手当の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律が成立し、11月26日に公布されたことに伴い、本条例の所要の改正を行うもの。

（改正内容）

- ①退職手当水準の引き下げ（現行の調整率「100分の104」を平成25年1月1日から段階的に引き下げ平成26年7月1日以降は「100分の87」（約400万円減額）とするもの）
- ②退職手当の退職後返納制度の創設（退職手当が支払われた後でも、在職中に懲戒免職等の処分を受けるべき行為が認められたときは退職手当の返納を命ずることができるもの）
- ③田尻町退職手当審査会の設置

（主な質疑）

問 この条例改正については、職員組合の同意を得ているのか。

答 職員組合とは協議を行い、理解を得ている。
（討論）

反対討論 直接生計費にかかわる退職手当については、削るべきではないと考える。

（採決結果）

賛成多数で原案のとおり可決

議員提出議案第2号、「田尻町議会会議規則一部改正の件」

（提案理由及び改正内容）

地方自治法の一部改正に伴い、本会議においても委員会同様、公聴会の開催や参考人の招致ができるようになったため、所要の改正を行うもの。

（質疑、討論及び採決結果）

質疑、討論なく、全会一致で原案のとおり可決

議員提出議案第3号、「田尻町議会委員会条例一部改正の件」

（提案理由及び改正内容）

地方自治法の一部改正により委員会に関する条文が一つに統合され、委員の選任等に関する事項が条例に委任されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

（質疑、討論及び採決結果）

質疑、討論なく、全会一致で原案のとおり可決

議員提出議案第4号、「田尻町議会政務活動費の交付に関する条例制定の件」

（提案理由及び内容）

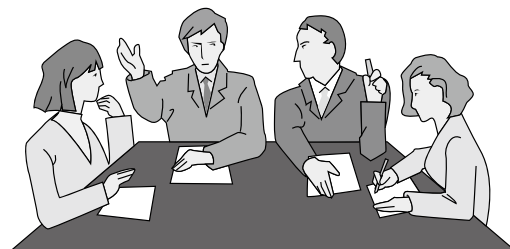
地方自治法の一部改正により、政務調査費が政務活動費へ名称変更され、使途については、これまでの調査研究に加え、「その他の活動」が追加された。また、経費の範囲については、条例で定めることとなったため、政務活動費の交付に関する条例を制定するもの。

（質疑、討論及び採決結果）

質疑、討論なく、全会一致で原案のとおり可決

選挙第2号、「泉州南消防組合議会議員の選挙」（当選人）

- 東 小夜子 議員
- 仁 部 順 行 議員



この人にインタビュー

田尻町体育協会 会長

たつ の こう いち
立 野 幸 一さん (59)

Q 会長歴は？

A 10年以上になります。昭和59年ごろスキー連盟の指導者として体育協会に入会以来24年に。

Q 体育協会として問題点は？

A 各団体の高齢化、後継者不足。田尻町には町民体育館などスポーツ施設がないので選手が外に出ていく。また、子どもたちの体力不足が心配。小さいころから外で元気に遊ぶほど基礎体力ややる気がつくので、外で思いっきり遊んでほしい。

Q 50周年が近いと聞いていますが？

A 平成26年5月に設立50周年記念行事を考えていま

す。体育協会としても各連盟の会費を積立てして、周年に取り組みたい。スポーツを通じた健康づくりや子どもにスポーツの楽しみを知ってもらいたい。

Q 夢は？

A 田尻町からオリンピックに出場するようなスポーツ選手を育成したい。



文教厚生常任委員会視察報告

委員長 高木謙治

本委員会は、平成25年1月15日・16日の2日間の日程で、埼玉県の和光市と戸田市を視察しました。

和光市「和光市長寿あんしんプラン」

和光市では、高齢者が地域で自立した生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築による介護保障と自立支援の確立を目指している。特に居宅介護の24時間巡回型サービスの導入と介



護予防の更なる推進を図り、高齢者の生活の質の向上を図ることとしている。

戸田市「フェルトガーデン戸田・リサイクルフラワーセンター」

「フェルトガーデン戸田」は、生ごみや古布等資源ごみのリサイクル品（オールリサイクル）を使い、軽量かつ安価という戸田市独自の屋上緑化システムである。

この事業は、環境NPO、企業、戸田市とのパートナーシップによる協働方式での開発事業となっている。

現在では、フェルトガーデン戸田を道路歩道敷花壇等にも応用している。

「リサイクルフラワーセンター」では、市民に専用生ごみバケツの貸出し等を行い、生ごみから堆肥を作り、その堆肥で花苗を栽培している。また、この花苗を専用生ごみバケツ（生ごみを約1ヶ月間ためたもの）と交換している。

さらに、この事業はリサイクル事業だけでなく、花苗の栽培作業に障害者等がかかわっており、障害者雇用や子どもたちへの環境教育にも役立っている。



田尻議会の 千ヨツト教えて

Q 政務活動費ってナニ??

A 政務活動費は、会派や議員が実施する調査研究など政務活動に要する経費として交付されます。今回、地方自治法の一部改正に伴い、政務調査費から政務活動費に名称が変更され、使途基準も一部変更になりました。（田尻町は、議員1人当たり月5千円）